

表1 平成12年度ダイオキシン類に係る環境調査結果(総括表)

〔 単位： 大気 pg-TEQ/m³
 水質 pg-TEQ/l
 底質 pg-TEQ/g
 土壌 pg-TEQ/g 〕

環境媒体	調査の種類	地域分類 (水域群)	地点数	検体数	環境基準超過 地点数	調査結果		
						平均値	最小値	最大値
大気		一般環境	705 (707)	2,816 (2,820)	4 (-)	0.14 (0.14)	0.0073 (0.0073)	0.76 (0.76)
		発生源周辺	189 (228)	648 (687)	6 (-)	0.15 (0.14)	0.0078 (0.0078)	1.0 (1.0)
		沿道	26 (26)	98 (98)	0 (-)	0.17 (0.17)	0.018 (0.018)	0.53 (0.53)
		全体	920 (961)	3,562 (3,605)	10 (-)	0.15 (0.14)	0.0073 (0.0073)	1.0 (1.0)
公共用 水域 水質		河川	1,612	1,885	80	0.36	0.014	48
		湖沼	104	113	2	0.22	0.028	2.3
		海域	400	426	1	0.13	0.012	2.2
		全体	2,116	2,424	83	0.31	0.012	48
地下水質		1,479	1,486	0	0.097	0.00081	0.89	
公共用 水域 底質		河川	1,367	1,410	—	9.2	0.0011	1,400
		湖沼	102	106	—	11	0.20	47
		海域	367	371	—	11	0.018	470
		全体	1,836	1,887	—	9.6	0.0011	1,400
土壌	一般環境把握調査	1,942	1,942	0	4.6	0	280	
	発生源周辺状況把握調査	1,089	1,089	1	11	0	1,200	
	合計	3,031	3,031	1	6.9	0	1,200	

注1:大気、公共用水域(水質、底質)及び地下水質の調査結果における平均値、最小値及び最大値は、各地点の年間平均値の平均値、最小値及び最大値である。

注2:大気については、環境省の定点調査結果及び大気汚染防止法政令市が独自に実施した調査結果を含む。
 なお、上段は夏期及び冬期を含む年2回以上調査された地点、下段()内は全調査地点の数値である。

注3:土壌については、このほかに対象地状況把握調査(9か所76地点)及び調査指標確認調査(6か所27地点)が実施され、2か所で環境基準超過地点が判明した。
 また、このうちの1か所を含む2か所53地点で範囲確定調査が実施された。

